



2017-18年度ガバナー

神野 重行



ロータリー:
変化をもたらす

2017-18年度R.I.テーマ

R.I.会長 イブ H.S. ライター

例会日 第一・第三木曜 12:20-13:30

事務局 〒460-0008 名古屋市中区栄1-22-16ミナミビル402

TEL 052-253-7821 / FAX 052-253-7820

例会場 ウェスティンナゴヤキャッスルホテル TEL 052-521-2121

〒451-8551 名古屋市西区樋の口町3番19号



第22回例会

2017年11月16日(木)

司会進行 高木 俊郎
「我等の生業」唱和

会長挨拶

酒井 俊皓 会長



皆さんこんにちは。

拘るようですが、今日も会長報告をします。先日、服部パストガバナーから、事務局を通じて「過去には、会長挨拶をしなかった例はあります。これもひとつの在り方だと思います。」というお言葉を頂きました。

さて、昨日、豊田市の名鉄トヨタホテルにおいて「第2回西三河中分区分会会長幹事会」が開催されましたので、高木幹事と出席してきました。

議事の一つ目は、平成30年2月24日に岡崎市の竜ヶ丘会館において「インターシティミーティング」を開催する。

二つ目は、4月6日に猿投カントリークラブにおいて「西三河中分区分懇親ゴルフコンペ」を開催する。

三つ目は次年度ガバナー補佐に豊田三好RCの鈴木正輝氏に決定した。

IM (Intercity Meeting) とは、ロータリー百科事典によれば以下のとおりです。

「グループ、分区単位でガバナー補佐が主催して開かれる。テーマはロータリーのこと、そして一般社会のことで、そのときに話題になっていること、考えなければならぬ問題点など、多岐にわたります。形式も講演、フォーラムなどいろいろあります。この会合で知識を広め深めるとともに、グループ、分区内の親睦も重要な目的ですから、懇親会も併せて開催されます。」

今回のIMは、「クラブの未来像、各クラブがどんなクラブにしたいのか。究極的には、こんなクラブなら入会したいと思える魅力あるロータリークラブを考える。」をテーマに、分区内の10クラブがそれぞれ発表をして、質疑応答、そして講師からの講評という内容にしたいとのこと。クラブの発表者を11月29日までに決定し、発表の要約を400字～800字程度に纏めて12月13日までに提出というスケジュールです。あまり時間がありませんが、どなたか発表者になっていただけませんか。私も一度どこかで皆さんとこのテーマで話し合いたいと思っていたことですので、ぜひこの機会に皆さんもこんなクラブであったらということにつき考えてください。柴田ガバナー補佐は、この問題を考えるうえで「ロータリーに要する費用」、「ロータリーに要する時間」、「懇親等対内的活動から対外的活動へ」の三つの視点が重要であるとおっしゃっていました。

当クラブは、月2回の例会で時間的負担は少ないと言えますが、それだけに充実した活動をするにはということが大きな課題になると言えます。

最後に、豊田東RCの澤田会長から矢場とんの鈴木拓将さんに例会の卓話を引き受けてもらったことにつき、丁寧なお礼を言われました。当クラブの存在価値を高めて頂き有難うございました。以上会長報告を終わります。

出席報告

河合 秀紀 委員長

	会員数	出席数	出席率
当日(11/16)	42	27	64.2%
	会員数	修正出席数	修正出席率
前回(11/2)	42	42	100.0%

ニコボックス報告

河合 秀紀 委員長

財団卓話をさせていただきます。よろしくお願ひします。

財団委員会 奨学基金平和フェロシップ委員会

長谷川龍伸

今日は13回目の結婚記念日です。13年間、毎日ありがとう。

感謝してます。でもね！13年分の言えない秘密も

いっぱいあります。ごめんね！

山城徹也

河合さん、お疲れ様です！

高木勝

11月6日の「おつり200円」と今日のニコボックスです。

遠山堯郎

山城さんいつもコメントありがとうございます。

加藤謙一

第22回例会を祝して

浅野信 出口茂 権田淳裕 長谷川裕一 堀場和孝

河合秀紀 河村直樹 小林弘和 牧野敬充 水野紀孝

奥村与幸 佐野洋一郎 菅原浩昭 鈴木達央

高木俊郎 高橋勝之 田中吉彦 山下智己 安田保

幹事報告

高木 勝 幹事

- 今週日曜に地区大会を予定しております。出席予定の方へはメールと本日の配布資料に関係資料(名札含む)を入れておきました。ご確認の上、お気をつけてお越しください。
- 来年6/23～27のトロント国際大会の案内がきてます。ご興味ある方は早期申込がお得です。事務局までお問い合わせ下さい。また6/24日19時～ガバナーナイトもごさいます。
- 昨日分区の会長幹事懇談会がございました。
- 例会終了後1時間@シャンボール クラブアッセンブリー
- 次回例会12/7(木)17時～
 - ①クラブフォーラム②クリスマス家族会 @ウェスティン1階「シャンボール」
- 職業奉仕への道をご提出頂いていない方は早急にご提出ください。

R財団委員会より報告 牧野 敬充 委員長

本日皆様のお手元にロータリーダイナースクラブカードの資料が配布されていると思います。このカードで決済すると0.3%ポリオ基金としてR財団に寄付される仕組みになっております。本日はダイナースのみとなっておりますが、オリコもあり、年会費なども異なります。オリコカードのご案内は次回配布致します。使いやすい方にご入会いただき、使用して頂けるとポリオ撲滅に繋がります。是非宜しくお願い致します。

卓話「R財団について」

財団委員会 奨学基金平和フェロシップ委員会 長谷川 龍伸氏



最初に財団への寄付についてお話しします。昨年度2363.51 \$のご寄付を頂きました。多額のご寄付を頂きましてありがとうございました。

財団とは、ロータリークラブを財政的に支える団体であり、ロータリアンの皆様からのご寄付を管理していく組織であります。管理運営しているだけでなく、奨学基金や、ポリオプラスなど、お金を使う事業、奉仕活動も財団委員会として行っております。財政的に支えるだけでなく、奉仕活動もしている組織とご認識ください。

財団は寄付で成り立っております。寄付には3種類あります。年次基金(3年後に戻って来る)、恒久基金(利息が戻って来る)、使途指定寄付(使い道を決めての寄付)です。

寄付して頂いた方のネーミング(称号)がございます。ポール・ハリス・フェロー(年次基金とポリオプラスと使途指定寄付で1000 \$ (10万円程)以上寄付した人。)、マルチプル・ポール・ハリス・フェロー(ポール・ハリス・フェローを重ねた場合。その後1000 \$ 毎に寄付された場合。)、ベネファクター(恒久基金に1000 \$ 以上寄付した人。)、メジャードナー(寄付の累計が10000 \$ に達した人。)、アーチ・クランフ・ソサエティ(10000 \$ を一回で寄付した人。)、ポール・ハリス・ソサエティ(毎年1000 \$ 以上寄付している人。))です。

クラブに対してもネーミング(称号)がございます。100%財団の友クラブ(全会員が年次寄付1000 \$ 以上。)、100%ポール・ハリス・フェロークラブ(全会員がポール・ハリス・フェロー。)、**「Every Rotarian, Every Year」**クラブ(年次寄付1人あたり100 \$ 以上。))です。

寄付金は地区に戻ってきます。恒久基金は利息分が返ってきます。返ってきたお金は地区活動資金と国際活動資金に振り分けられます。実際は返ってくると言っても半分になります。地区活動資金(DDF)が返ってきて、国際活動資金(WF)は本部にプールされるようになります。返ってきた50%の地区活動資金(DDF)はさらに半分に分けられ、半分が地区補助金に、もう半分はグローバル補助金に充てられます。

奉仕活動をする為に100万円必要だった場合、自クラブで50万円を用意すると、地区からも50万円です。グローバル補助金は300万円以上の大きいことがしたい時に、クラブのお金は必要なく、グローバル補助金から150万円、国際活動資金から150万円がでるといった仕組みになっております。必ず足して100にするといったシェアシステムになっております。このようにご寄付頂いたものを奉仕活動に役立てております。

ロータリー財団委員会は5つの委員会から構成されております。

資金管理委員会(全体を管理する。)、資金推進委員会(寄付を集める。)、補助金委員会(寄付金を支給する。)、ポリオ・プラス職業研修チーム委員会(事業を行う。)、奨学基金・平和フェロシップ委員会(事業を行う。))です。

昨年度に100周年を迎え色々なことを行わせて頂きました。今年から101年目ということで4つのテーマを掲げております。ポリオ撲滅、基金への理解を深める、ロータリーファミリーの活動を支援する、マイロータリーへの認識と登録です。

ポリオはご存知のとおり、小児麻痺のことであり、現在はアフガニスタンとパキスタンに限られて、撲滅が大分進んでまいりました。ゲイツ財団と協力をして引き続き行っていきます。

奨学基金はロータリー奨学生という奨学生がおります。代表的な先輩は緒方貞子氏という国連等で非常に活躍された方や、中満泉氏という現国連事務次長である方。このような立派な方が先輩にいらっしゃいます。

平和フェロシップは、平和分野の研究者を育てるための奨学金を指します。世界に6か所の平和センターがあり、そこで紛争予防解決など平和の為に勉強する組織です。日本ではICUというところがございます。平和フェロシップで勉強した人が就いた職業の例としてはNGOが3分の1占めており、その他は研究者、国連機関などです。

奨学金と聞くとお金の無い人に勉強する機会を与えるとイメージされやすいですが、価値のある仕事に就こうとしている人に支援しているように思えます。

当地区では一昨年度、シライシさん、カナヤさん、ハヤセさんの三名にグローバル補助金奨学生としてさせて頂きました。みなさんイギリスの大学で勉強されました。

ロータリーですと、米山奨学生の方がピンとくる方が多いかと思いますが、米山は海外の方を日本に招いて日本で学んでもらうという事業です。財団からでる奨学生は日本の方が海外に出て学んでもらうという事業です。地域は主にイーストアメリカ、スウェーデン、オーストラリアです。昨年度はコイケヒロタカさんという方を送りだしております。すでにスウェーデンの大学に在学中でしたが、2年目のお金がないとのことでした。このような場合でも柔軟に対応しております。

平和フェロシップは実はすごく狭きものなのですが、当地区が4年連続だしております。例えば、ツジサカさんという方がいらっしゃいます。国境なき医師団で全国各地を転々としている方ですが、もっと基本的な平和の為に勉強がしたいということで応募され、つい先日合格通知が届きました。

今後、貴クラブも地区補助金を使用して事業がしたいなどでてくるかと思えます。その時に役立てて頂ける内容を説明致します。

ロータリアンの子供はNG。お金を支援するだけはNG。収益事業はNG。 などなど

具体的な手続きについては、
①1月～3月末 申請書受付 ②審査 ③7月 結果発表 ④8月 資金支給 となっております。

申請には1つ条件があります。8月の財団セミナーと2月の補助金管理セミナーの2つの会議に該当者が出席しなければなりません。グローバル補助金は少し特殊で、奨学生事業もこちらに該当します。

最後に二つございます。一つ目は、ロータリーカードのご入会です。二つ目は、マイロータリーの登録です。是非登録して頂きたく存じます。

今後も財団事業にご協力頂ければと存じます。金額としては、昨年度は一人180 \$ を目標にしてまいりました。今年は年次基金寄付額150 \$、ポリオ撲滅寄付額30 \$ となっております。総額は変わりありません。今後とも宜しくお願い致します。ご清聴ありがとうございました。

例会後

クラブアッセンブリーにて各委員会報告を行いました。

次回例会 【第22回夜間例会(上期納会)】

日 時： 12月21日(木) 18:00～20:00

会 場： 川由(名古屋市東区泉2-10-6)

その他： 例会前後には何も予定しておりません。